

品種の特性

管内で生産される主な品種

うるち米(移植栽培)では主食用のななつぼし、ゆめぴりか、きらら397、ふっくりんこなどが栽培されています。

うるち米(直播栽培)では主に加工用の大地の星、主食用のえみまるが栽培されています。

もち米でははくちょうもち、風の子もちなどが栽培されており、管内では芦別市、北竜町、幌加内町にもち米団地が見られます。

このほか、飼料用米のそらゆたかも栽培されています。

区分	品種名	採用年	早晩性	品種特性	備考
うるち米	ななつぼし	平成13年	中早	食味のバランスに優れた北海道基幹品種	
うるち米	きらら397	昭和63年	早晩	粒感があり、しっかりとした食感の品種	業務用として一定の需要あり
うるち米	そらゆき	平成25年	中早	多収で耐冷性、耐病性を持ち、籾割れ発生が少ない品種	業務用米としての「きらら397」後継品種
うるち米	ゆめぴりか	平成20年	中早	アミロース含有率が適度に低い極良食味品種	
うるち米	ふっくりんこ	平成15年	晩中	耐冷性に優れた極良食味品種 道南・空知地域で限定作付	
うるち米	おぼろづき	平成17年	中早	粘り、柔らかさに優れる低アミロース品種	
うるち米	きたくりん	平成24年	中中	強耐病性のため、農薬を節減した栽培が可能	
うるち米(直播)	大地の星	平成15年	早中	耐冷性、耐病性に優れ、加工用(冷凍ピラフ等)に適した品種	
うるち米(直播)	えみまる	平成30年	早早	低温苗立性に優れ直播栽培に適する品種	主食用品種
もち米	はくちょうもち	平成元年	早晩	耐冷性、品質(白度)に優れ、北海道もち米の主力品種	全国的に知名度が高く、根強い需要あり
もち米	風の子もち	平成7年	中早	耐冷性、耐倒伏性、品質(白度)などに優れている品種	赤飯、おこわ用として一定の需要あり
もち米	きたゆきもち	平成21年	早中	耐冷性が極めて高く、白度、食味ともに高く評価される品種	白度が高く、おこわの官能評価でつやと味に高評価
飼料米	そらゆたか	平成28年	早晩	耐冷性、いもち病抵抗性、耐倒伏性に優れる。	

資料:「北海道米2020」(お米パンフレット、ホクレン農業協同組合連合会)、北海道農政部調べ